

FIP IT BOX

ASPニュース

Contents / November.2000

- **IDC & ASP** Web時代のベストソリューションパートナー
- **コラボレーティブサービス** プラウザの前向きな新しいビジネススタイル
- **金融 & ASP** 動きはじめたリテールビジネス

発行日 2000年11月17日
 発行元 販売推進統括部 販売推進部
 東京都江東区青海2-45 タイム24ビル
 連絡先 03-5531-5120/info@fip.co.jp
 URL <http://www.fip.co.jp/>

富士通エフ・アイ・ピー株式会社

**IDC
&
ASP**

Web時代のベストソリューションパートナー

データセンタのポイント

PC、携帯電話をはじめインターネット端末は増加の一途をたどり、さまざまな利用形態で使われています。急成長するインターネットビジネスを的確に進めるためには、信頼できるサービスインフラが欠かせません。このような流れの中で「IDC」が注目を浴びています。

「IDC（インターネット・データ・センタ）」とは、大容量回線でインターネットに接続し、高いセキュリティや堅牢性を兼ね備えたインターネット専門のアウトソーシング・センタのこと。昨年末か

ら今年にかけて、エクソダス社に代表される外資系事業者が続々と日本へ上陸。これを受ける形で国内の大手メーカーや通信事業者、電力会社などが相次いで参入し、まさに「IDC開設ラッシュ」の様相を呈しています。

米国調査会社 IDC 社（International Data Corporation）によると、世界の IDC 市場は1999年の18億ドルから4年後の2003年には176億ドルと、年率77%の急成長が予測されており、日本でもこれを上回る年率120%増の需要が見込まれています。

レーションなど一歩踏み込んだサービスの提供ができるかが IDC の重要なポイントです。

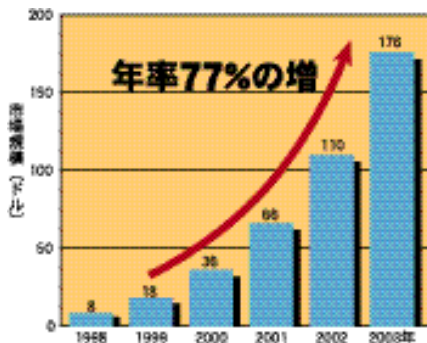
FIP の IDC サービス

当社では、以下の点をポイントに、お客様のインターネットビジネスをサポートする総合的な IDC サービスを提供しています。

(1) 高信頼性・高品質

通産省の安全対策基準のほか、当社独自の安全対策強化基準を設け、信頼性をさらに向上させています。ま

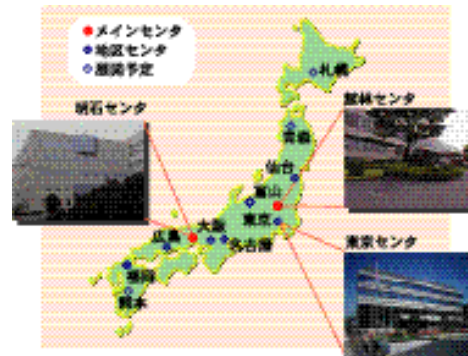
【IDCの市場規模予測】



場所貸しだけでは不十分

IDC は、従来 ISP が提供していた Web サーバのディスク貸しに比べて、はるかに高いレベルのサービスが要求されます。加えて、単なる設備の提供や場所貸しだけでなく、お客様のビジネスを素早く立ち上げられる充実したネットワーク・インフラやバックアップ体制、システム・インテグ

【当社 IDC センタマップ】



【IDCサービスの主なご利用例】

業 種	ご 利 用 例
中央官庁外郭団体	インターネットによる情報提供サービス
中古車販売	中古車/パーツ情報の提供、登録者へのメール通知サービス
ネットオークション	余剰在庫・不要品等のネット仲介
スポーツ用品販売	店舗情報システムの窓口サービス
自動車卸売	ERPシステム、ディーラー支援システム
出版	人物/図書情報のインターネット提供
生命保険	基幹システムおよびインターネットによる保険料試算サービス
情報提供サービス	海外データベースのプリンティングサービス
運輸サービス	取引企業との物流 EDI サービス
人材派遣	人材派遣システム（スタッフ管理/勤怠/契約管理）
地方自治体	住民情報システム

た、ISO9001が実証する高品質な運用や不正アクセス防止などのセキュアサービスも含め、ミッションクリティカルなサービスをサポートします。

(2)豊富なサービス内容

企画～設計・構築～運用まで、システムのライフサイクル全てをカバーしたトータルソリューションサービスを提供。加えて、ヘルプデスクサービスや運用負荷を軽減するビジネスオペレーションサービスなどビジネスを支える多彩なサービスを取り揃えています。

(3)立地性

予定を含め全国 12ヶ所に IDC セン

タを設け、お客様の利用形態にあわせて効率的にシステム機能を配置できます。

**IT 戦略を強力に支援する
ASP サービス「BeStage」**

IDCをプラットフォームとして、当社では 2000 年 5 月に ASP サービス「BeStage」(ビーステージ:ビジネス・アプリケーション & eコマース・ステージ)の提供を開始しました。

ASP はシステムの導入や運用コストの削減、急速に拡大するeビジネスに対する社内の人材不足等の解決策として注目が寄せられ、多くのIT企業が

次々と ASP 事業に参入しています。

しかし、システム管理者の負荷軽減、導入期間短縮というメリットがある半面、データやハードウェアを外部に置くため、サービスの継続性やセキュリティ面など導入に不安な要素も残ります。ASPで実行する業務がお客様にとって重要なものになればなるほど、ASP事業者の選択は重要になってくるのです。

当社では、3万社に利用いただいている EC/EDI サービス、ビジネス・アプリケーション・サービスで積み重ねてきた資産にインターネット・アプリケーションを融合し、単なるアプリケーション提供だけではなく、業種業務に特化し、お客様のBtoB/BtoC ビジネスの領域を拡大させるプロフェッショナルな ASP サービスを提供いたします。

【当社の IDC サービスメニュー】



コラボレーティブ
サービス

ブラウザの向こう側にみえる 新しいビジネススタイル

ExtraPort

インターネットの普及とともに数年前より台頭してきたイントラネット型グループウェア。ブラウザがあれば全ての機能が利用できる簡便性で急激に市場に広まりました。当社でもパッケージソフト「YellowTail」を発売し、多くの企業でご利用いただいておりますが、そのコミュニケーション機能をASPとして提供しているのが「ExtraPort」です。

サーバの運用は、万全なセキュリティ環境を誇るBeStageセンターで行うので、管理者の作業が大幅に軽減されるほか、膨大な初期投資やメンテナンス費用は不要です。

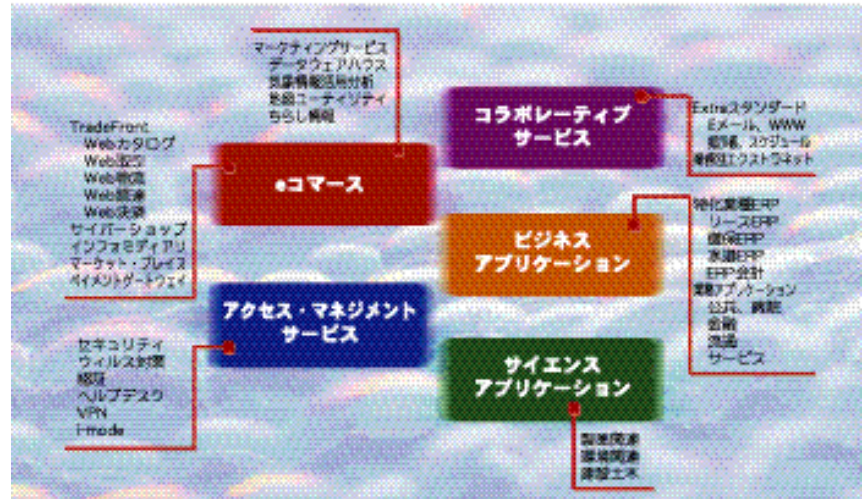
企業内ポータルから 企業間コラボレーションまで

“ブラウザ セントリック”という言葉があります。これはWebブラウザをフロントエンドとしてさまざまなアプリケーションを利用するシステム形態のことをいいますが、業務に関するすべてのリソースへのアクセスをブラウザに集中させることはビジネスの効率化につながります。ExtraPortでは業種業務に特化したソリューションを提供し、業務ポータルとして、たとえば外食産業における月報/売上集計、リース業の契約管理などに利用されています。

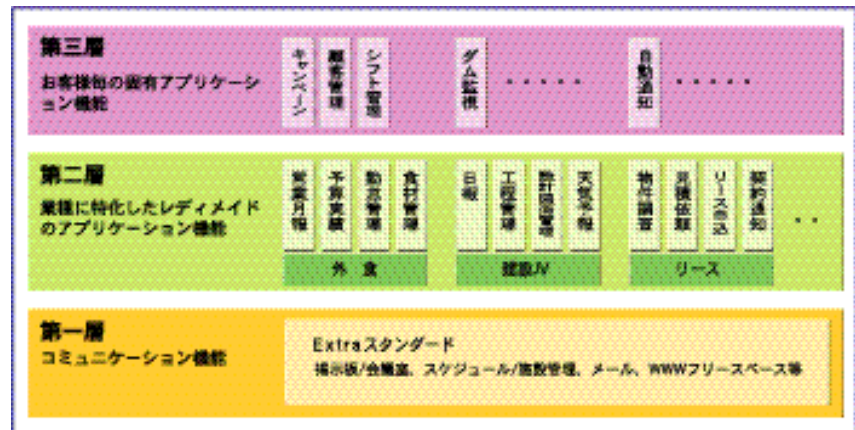
さらに、取引先とのエクストラネットを構築し見積照会や申込などをWebで行うことにより、販売機会の拡大など新規ビジネスにもつながり、取引先とのコラボレーションをより強固なものにします。

今後はi-mode対応や、メールマガジンなどの機能強化を予定しており、あらゆるビジネスの場で利用できるプラットフォームとしての利用価値が高まることでしょう。

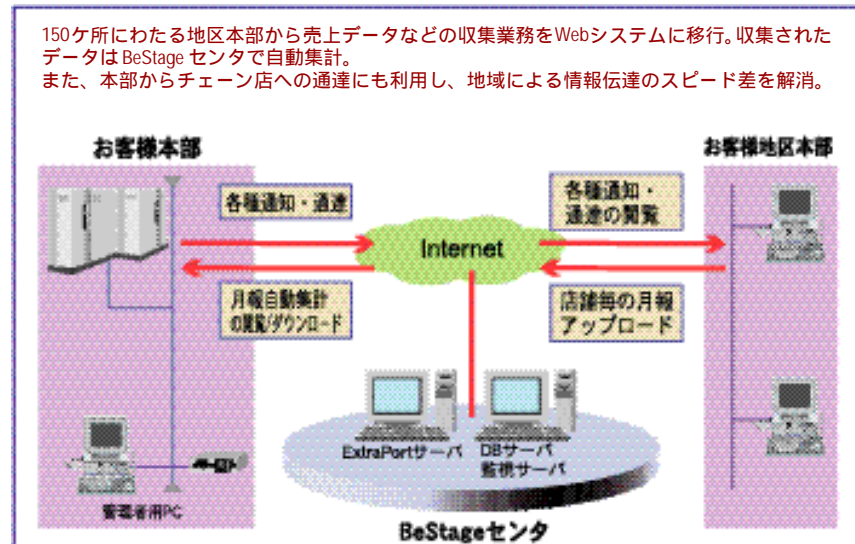
【BeStage 体系図】



【ExtraPort : 三層のサービスレベル】



【ExtraPort ご利用例 : 本部 - 地区本部間の月報集配信システム】





動きはじめたリテールビジネス

Webスコアリングサービス

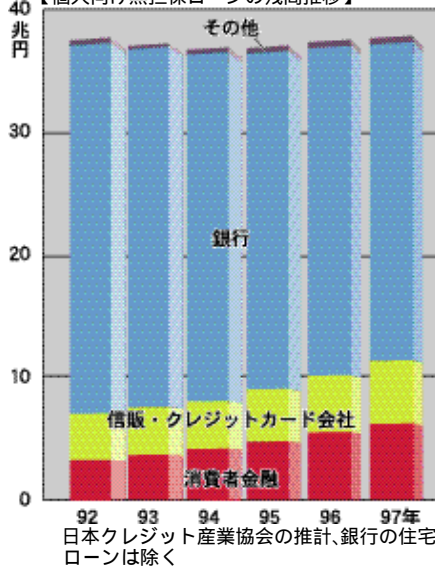
消費者中心の時代と言われる今日、大手の金融機関を中心にリテールビジネスに重点が置かれ、特に無担保ローンビジネスの環境は大きく変化しています。個人キャッシングに特化した消費者金融では、クレジットリスクをいち早く計量化し、他業種に例のない審査ノウハウを確立して高収益を挙げています。

銀行など金融機関においても、住宅など目的別ローンに比べて収益率が高く、成長の余地が大きい「カードローン」や「フリーローン」などの商品を見直し、収益の柱とする動きが目立っています。すなわち、返済能力を確実に見極められる優良顧客中心のマーケティングから、ある程度リスクテイクした幅広い顧客を取り込もうとする動きです。一方、小売業も積極的に乗り出しており、市場では業種を超えた競争が始まっています。

成功への鍵

ブランド力を武器に女性を含む幅広い層にアピールできる銀行が、個人ローンを成功させるためには不特定多数の顧客を短時間で審査する与信管理能力が鍵となります。必要なものは、

【個人向け無担保ローンの残高推移】



- (1)低コストで大量審査、(2)審査レベルの均質化、(3)正確なリスクコントロール、(4)審査時間の短縮 ができる審査システムであり、こうした機能を持つ審査システムの開発には通常、長期間、高コストを要します。

自動審査システムをASPで

そこで当社は、融資申込情報等を基にスコアリングし、スコアに応じた審査と融資戦略の判定を行う国内初の

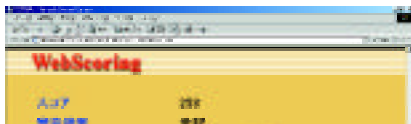
ASP サービス「Webスコアリングサービス」の提供を開始しました。クレジットスコアリングのパイオニアである米国フェア・アイザック社が開発した日本の金融機関向け個人融資汎用モデルを採用し、ブラウザからインターネットに接続するだけで独自の融資審査を行うことができます。

効果的な融資戦略へのフィードバック

審査基準は個別に登録でき、各金融機関の戦略に則した形で設定できます。審査結果の検証や申込者スコア変動分布などの分析結果を定期的に提供する「トラッキングレポート」で審査基準を検証することにより、審査精度のさらなる向上を図ることができます。

なお、個人情報保護についても配慮しており、審査情報の匿名性を確保し、個人を特定するようなデータの入力は不要です。今後は、幅広いローンメニューに対応できるモデルをはじめとして、CRMなど金融機関のリスク分析システムに幅広いソリューションを提供していく予定です。

【結果表示画面例】



【申込画面例】



【Webスコアリング サービス内容】

自動審査	<p>融資申込情報等をもとにスコアリングし、各金融機関個別の審査基準により融資戦略を判定</p> <p>入力情報 [申込者情報] 年齢、性別、居住形態、年収、業種、職業、他 [銀行口座情報] 預金口座 (普通、当座)、定期・積立口座他 [CB照会情報]</p>
トラッキングレポートの提供	<p>オートスコアリングや AVR (Accept/reView/Reject) の審査基準、プライシングやプロモーションなど、効果的な融資戦略にフィードバックできるレポートの提供</p> <p>フロントエンドトラッキング 申込時の全申込者母集団のスコア分布やその変化を測定し、オーバーライドの実態や申込顧客層の変化を把握 スコア分布レポート、母集団安定性レポート</p> <p>バックエンドトラッキング 口座 (ビヘイビア) 情報を利用してスコアと延滞状況を測定し、スコアカードの性能やその変化を把握 最高延滞分布レポート、現在延滞分布レポート</p>